



士別ロータリークラブ会報

創立1960.3.24 RI第2500地区

vol. 25 No. 2250

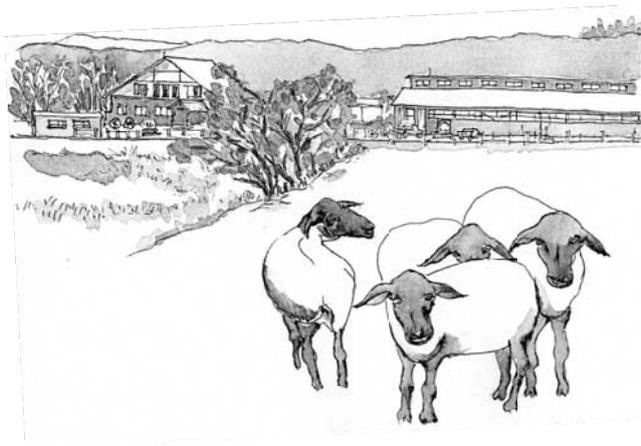
2008-2009年度国際ロータリーのテーマ



**夢をかたちに
Make Dreams Real**

2008—2009年度RI会長
季 東建

例会場／士別グランドホテル
例会日／毎週月曜日 12：10～13：10
事務所／士別グランドホテル TEL (0165) 23-1234
会長／織戸 俊二
副会長／神田 英一
幹事／尾崎 学



しずお農場

百瀬達夫画

第2331回例会 2009年2月16日（月）

今日のプログラム ・ 普通例会 ・ 職場訪問（日本甜菜士別製糖所）

■ 前回（2月9日）の記録 ■ ・ 普通例会 ・ 会員卓話（岡田会員）

司 会 山口哲雄会場監督
 齊 唱 我等の生業
 本日の出席 出席率82.75% 会員58人中 出席者48人
 本日の欠席 加藤 博、国森和麿、小竹一男、千葉繁夫、鍋島 秀、福澤丹治、松塚信雄、吉川紀雄、
 渡辺正一、日沼政和

メイクアッ
 ビジター
 ゲスト
 ニコニコBOX 菊地 博（第4回雪まつり終了御礼）

累計296,000円

例会予定

■ 2月例会日「世界理解月間・ロータリー創立記念」

- 2月2日（月）普通例会・理事会（定木ガバナー補佐訪問）
- 2月9日（月）普通例会（卓話）
- 2月16日（月）普通例会（職場訪問・日甜）
- 2月23日（月）夜間例会

■ 3月例会日「識字率向上月間・世界ローターアクト週間」

- 3月2日（月）普通例会・理事会（卓話）
- 3月9日（月）普通例会
- 3月16日（月）普通例会
- 3月23日（月）特別休会
- 3月30日（月）夜間例会（士別RC創立記念日）

■会務報告 ————— 織戸俊二会長

○2月6日に2009～2010年次年度士別ロータリークラスの第1回理事会に出席してきました。

○次期地区ガバナー年次研修会国際競技会でジョン・ケニーRL会長エレクトは次年度テーマを発表しています。

「ロータリーの未来はあなたの手の中に」

「ロータリーの未来は手の中にあることを自覚し、より良きロータリーを築き、もっと健康で平和な世界を目指して努力しましょう」とのRLテーマです。

○また士別RLテーマは大野エレクトより発表されました。

「ロータリーを楽しく学び奉仕しよう」

行動方針は

- ①協調の心で楽しもう
- ②向上の心で学びましょう
- ③変革の心で奉仕しよう

大野エレクトは「士別ロータリークラスの第50代会長として指名を受け、歴史と伝統のあるロータリーに対して、その責任の重さを痛感しております」とのご挨拶がありました。士別ロータリークラスのため、健康には十分に気をつけてよろしく願いを申し上げます。

○2月7日、8日、冬を楽しむ第54回士別雪まつりがあすなる公園で開催されました。菊地観光協会会長、実行委員長さんはじめ関係されたクラスのみなさん、たいへんご苦労さまでした。

■幹事報告 ————— 尾崎 学幹事

【受信文書】

・国際ロータリー並びにロータリー財団の2007～2008年度年次報告と、ロータリーワールドの2009年1月号

・国際ロータリーより、ロータリー活動を広く伝えるために「人類のために活動します・V」

・ロータリー神戸国際囲碁大会の案内、名寄RCより1月の会報と2月の例会

委員会報告

■職業奉仕委員会 ————— 若森 孝委員長

第3例会に日甜士別製糖所への職場訪問いたします。駐車場についてはPという看板が体育館川にあります。個人で行く方は、こちらをご利用ください。バスは26名前後が乗れます。到着後、約20分あまり説明をいただき、30分程度で工場見学を終わらせたいと思います。多くの方にぜひ見聞を深めていただきたいと思います。

■プログラム委員会 ————— 菊地 博委員長

本日の会員卓話は、財団法人士別体育協会会長、当クラスロータリー財団委員会委員の岡田晃会員に、「社会の現状とスポーツ」と題してお願いをしています。

なお、今後のプログラムについて案内をさせていただきますが、先ほど若森職業奉仕委員会委員長よりご案内がありました通り、次回2月16日例会終了後、職場訪問ですので卓話はありません。また2月23日は夜間例会ですので卓話はありません。従って、次の話は3月2日第1例会に汐川国際奉仕委員会委員長の卓話まで、ご座いませぬので、ご理解をお願いします。

会員卓話

岡田 晃会員

「社会の現況とスポーツ」（オリンピックを軸にして）

- ・近代化100年とスポーツの普及
- ・スポーツ振興法とスポーツの大衆化
- ・スポーツ産業、文化の開花
- ・日本の目標は……スポーツ立国として国家戦略を持たないとメダルの無い日本になる。個人戦では国家戦に対抗できない。

以上の4点が卓話の柱。

日本体育の父・加納治五郎氏（講道館創設者）が東洋初のIOCオリンピック委員になり、日本のスポーツの基礎を築いた。

戦後は生涯スポーツと地域スポーツ環境の整備にも力が注がれてきている。

士別では1976年2月にグリーンランド横断冒険家のエリキ・ピヒカラさんが士別市で「歩くスキー」の講習会を行った。

当時の國井市長がフィンランドに行き、ヘルシンキ郊外のランニングコースを模して、士別にグリーンスポーツ施設を作った。

その後、フィンランドとの友好の灯が、士別のまちから「セフンスター」（7つのまちを結ぶ大会）となって広がり、日本の冬の楽しい生活スポーツへとなっていった。

■ロータリー財団委員会からのお知らせ

●2月結婚

深尾幸雄会員（2日） 小竹一男会員（7日）

菊地 博会員（12日）

●3月結婚

宮崎隆雄会員（11日） 伊藤優市会員（25日）

大塚勝人会員（18日） 佐藤安司会員（25日）

織戸俊二会員（19日） 武田 修会員（5日）

野崎英男会員（11日）